

4/27

洞爺湖町在住アーティストの作品 山口陽介作品展

春の作品展「山口陽介作品展」が洞爺湖芸術館で、4月27日から6月2日の期間、開催されました。今年度から町直営となった同館の初企画として、山口陽介さんの作品40点を展示。

オープニングセレモニーで山口さんは「自分の絵が新しい出会いを発見していただくツールとなればうれしいです。作品展も町の人々と作っていく感じが嬉しかったです」と話しました。



来場者を魅了する山口陽介作品展

4/17

洞爺湖町にサッカー少年団 TOYA.FC 発足

洞爺湖町唯一のサッカー少年団 TOYA・FC が発足し、洞爺湖町月浦運動公園ポロモイスタジアムで練習体験会が行われ、町内外から28人が参加しました。

町内では2017年にサッカー少年団が解散。地域おこし協力隊の秦野孝慎さんの他にも5人の指導者が集まったことから、2年ぶりに復活しました。

当日は、ドリブルや各学年ごとに試合などのメニューを消化して、汗を流しました。



サッカーの試合を行う子どもたち

4/30

おいしい食事で地域と交流 ほみい食堂

洞爺湖町唯一の児童発達支援放課後等デイサービス「ほみいくらぶ」の児童が調理して提供する「ほみい食堂」が虻田ふれ合いセンターで開催されました。

地域の人たちに「ほみいくらぶ」の活動に理解を深めてもらい、交流することを目的に実施。

当日は「ほみいくらぶ」に通う小学校3年生から高校3年生までの10人と8人のスタッフで、かつ丼やかけうどん、マザー井などを提供しました。



調理した食事を提供する「ほみいくらぶ」の児童

4/27

洞爺湖畔で花壇整備 MOVE 洞爺湖 2019

MOVE 洞爺湖2019（洞爺湖温泉観光協会など主催）が洞爺湖温泉で開かれ、約100人が参加して湖畔などの花壇整備に汗を流しました。

2000年有珠山噴火後の洞爺湖清掃作業がきっかけとなって、北海道のラジオ局AIR-Gとの連携で始まったボランティア活動です。

参加者は、湖畔の遊歩道や噴火記念公園などに分かれ、パンジーやビオラ約1万株を植栽しました。



噴火記念公園の花壇整備をする参加者

5/7

脳を活性化して認知症を予防 はつらつ楽習！脳健康教室

今 年度のはつらつ楽習！脳の健康教室の開講式が健康福祉センターさわやかで行われ、受講者12人とサポーター4人が参加しました。

いくつになっても元気な生活を送れるように、同教室を昨年からの開講。簡単な読み書きや計算などの教材を使って、脳の前頭前野を活性化し認知症の予防を行います。

参加者は、仲間やサポーターと楽習や会話を楽しみ、教材に取り組んでいました。



サポーターと楽習を楽しむ受講者

5/3

春の野花や野鳥を観察 春を楽しむ会

多 彩な植物や野鳥の観察ができる月浦森林自然公園の魅力を知らうと「いきいき教室春を楽しむ会」（いきいき教室／NPO法人森・水・人ネット主催）が同公園で、町民や同ネット会員約40人が参加して行われました。

当日は同ネット会員の案内で、ミヤマスマシレなどの野花やウグイスなどの野鳥を観察。木村益巳代表は「豊かな自然があるので、生物の多様性に富んでいる」と話しました。



春の植物を観察する参加者

5/12

有珠山の森のひみつを知る 洞爺湖有珠山ジオパーク講座実施

有 珠山噴火の影響を受けた植物の勉強会を北海道大学露崎史郎教授を招いて実施しました。有珠山の森林についての講習会は今回が初めての実施。町内外から25人が参加しました。

当日は西山山麓火口群や昭和新山麓、有珠善光寺自然公園を露崎先生のガイドで歩いて回りました。

露崎先生は「有珠山では、噴火の影響を受けた典型的な森林の遷移を見られる」と有珠山の森林について話しました。



露崎先生のガイドを真剣に聞く参加者たち

5/12

こども体験の日合同イベント 段ボール工作や縄文体験に夢中

こ ども体験の日合同イベントとして「あそびフェスタ in とうや湖&縄文の日体験事業」が午前と午後に分かれて行われ、28人の子どもたちがゲームや縄文体験などを楽しみました。

午前中にあぶた母と子の館で行われたあそびフェスタでは、絵本の読み聞かせや段ボール工作を楽しみ、午後は入江・高砂貝塚館で竹や縄、麻などを使って、住居づくりを体験し、楽しい1日を過ごしました。



住居づくり体験をする児童たち